

鳥栖市の特徴や誇れるもの

- ・旧長崎街道が町の中心を貫き、古くから交通の要所として栄え、当時の長崎街道には、田代宿や轟木宿の宿場町が置かれていた。現在は、JR、国道、高速自動車道の分岐点を備え、九州陸路交通における「九州の玄関口」としての役割を担っている。
- ・市の北西部に所在する城山の山頂と、その南山麓の谷筋を中心に広がる、戦国時代後期の城下町遺跡である、勝尾城筑紫氏遺跡(2006年に国の史跡に指定)がある。
- ・春には、曾根崎、牛原、神辺の獅子舞、宿の鉦(かね)浮立、秋には、四阿屋神社の御田舞、村田浮立、藤木の獅子舞等、市内各地で伝統的な行事が行われている。
- ・ベストアメニティスタジアムは、サガン鳥栖のホームスタジアムとしてはもちろん、スポーツ・文化の交流拠点となっている。
- ・平成27年度より、教科「日本語」を小中一貫教育の大きな柱に、郷土を愛する心を育てている。

基里小中における交流活動



「小1・中2の1・8交流」
小1児童と中2生徒が、教科「日本語」の学習をふまえた手作りの道具を用いて交流した。この取組は、5年間続いている交流活動である。毎年小学1年生は、とても楽しみにしている。

「小6・中1の6・7交流活動」

小6児童が中1生徒から英語の勉強を教えてもらった。小学生は、授業を進める先輩たちの様子を見て「あんな中学生になりたい」との感想をもった。



「児童会・生徒会交流活動」
毎月1回、児童会と生徒会が地域に立ち小中合同挨拶運動をしている。小学生は中学生の礼儀正しい先輩の姿を見て、尊敬や憧れの気持ちをもつことができた。

教育委員会所在地:鳥栖市宿町1118番地
連絡先:学校教育課(0942-85-3520)
学校数:小学校8校、中学校4校

基里小中における乗り入れ授業



「中学校家庭科担当の乗り入れ授業」
教科「日本語」の「食事の仕方を知ろう」では正しい箸の持ち方や使い方を理解し、良い食事のマナーを身に付けられるよう学習した。



「中学校音楽科担当の乗り入れ授業」
迫力のある歌の指導に、児童は真剣な眼差しで取り組み、音の重なり方が上達し伸びやかな声で歌うことができたようになった。

地域・保護者との交流活動

「大人としゃべり場」

6月12日(日)鳥栖市教育の日【地域公開授業】で実施した。普段大人と接する機会の少ない中学生が、親、教師、地域の大人との会話で理解し合ったり刺激し合ったりする楽しさを感じるひとときになった。



鳥栖市の特徴や誇れるもの

- ・旧長崎街道が町の中心を貫き、古くから交通の要所として栄えてきた。田代地区には、長崎街道田代宿の宿場町、鳥栖市街地には、長崎街道轟木宿の宿場町が置かれていた。現在も、毎年10月に「長崎街道まつり」が行われている。
 - ・市の北西部に所在する城山の山頂と、その南山麓の谷筋を中心に広がる、戦国時代後期の城下町遺跡である、勝尾城筑紫氏遺跡(2006年に国の史跡に指定)がある。
- かね
- ・春には、曾根崎、牛原、神辺の獅子舞、宿の鉦浮立、秋には、四阿屋神社の御田舞、村田浮立、藤木の獅子舞等、市内各地で伝統的な行事が行われている。

鳥栖市における教科「日本語」の取り組みについて 平成27年度より、全小中学校で教科「日本語」の実施 (文部科学省の教育課程特例校の指定)

○教科「日本語」の目標

日本の言語や文化に親しむことにより、日本語の持つ美しさや、日本人が持っている感性、情緒を養い、日本人としての教養を身に付け、我が国の言語や文化を継承し、新たな創造へとつないでいく態度を育てる。

○郷土を愛する心を育む内容について

【小学校】

- ・全国的に有名な昔話
- ・神話
- ・鳥栖市、佐賀県の昔話
- ・郷土の名作(次郎物語)
- ・鳥栖市、佐賀県の地名
- ・地域の方言
- ・長崎街道(シュガーロード)
- ・鳥栖市、佐賀県の祭り・行事
- ・佐賀の七賢人
- ・各校の校歌
- ・鳥栖市の勝尾城



【中学校】

- ・地域の方言
- ・有田焼
- ・葉隠 …… 等

鳥栖市作成の教科「日本語」教科書とその一部

これらの内容を市内小中学校で実践し、郷土を愛する心を育んでおります。

教育委員会所在地:鳥栖市宿町1118番地
連絡先:学校教育課(0942-85-3520)
学校数: 小学校 8校、中学校 4校

【小学校の取組】

鳥栖小学校の3年生では、社会科で学んだ地域の気に入ったものについて、総合的な学習の時間に詳しく調べた。

教科「日本語」の授業では、詳しく調べたお気に入りのものについて、そこからどんな声、音、様子が思い浮かぶか言葉で表し、リズムのよい「郷土かるた」の読み札を作っていた。作成後は、学校行事の中で「郷土かるたコーナー」を設置し、異学年や保護者、地域の方を招いての取組を通して、活動を広げていった。



「郷土かるたを作ろう」の授業の様子

【中学校の取組】

鳥栖中学校の1年生では、「佐賀の焼物は私たちの自慢」という学習を行い、佐賀県の焼物の種類や歴史、外国との関わり等について知った。特に、四百年を迎える有田焼については、焼物の工程や人間国宝に触れ、有田焼を発展させていこうという有田の人々について学び、「世界にもう一度有田焼を広めるためには」というテーマで話し合いを行った。学習を通して、生徒たちは、郷土にすばらしい文化があることを再認識し、誇らしい気持ちをもつことができた。



絵付け体験の授業の様子